

## 食いしん防災コミュニティ部会がいく！

映画ネタに走った前回ですが、食欲の秋ということで、再び食いしんぼ話に戻ります。今回の話題は「ひつまぶし」

最初に食べたのは元祖「うなぎのひつまぶし」。戦後の食糧難の時代に、少量のウナギで食べれるようにと考案されたのが始まりとか。発祥の地名古屋の「いば昇」という店で食べたのですが、あまりの美味しさにほっぺたが落ちました。まだ若かったので量の多さがうれしかったし、味が変わられるのも魅力でした。関ヶ原で安く食べられる店を教えてください、何度か行きました。



よくある食べ方は、1杯目はそのまま、2杯目は薬味を添えて、3杯目はお茶漬けにして、というもの。個人的には②が好きなので、1杯目から薬味を投入します。③はワサビを入れるのが好み。難は高価なことですな。とくに国産ウナギが高騰している近年は、なかなか口に入らなくなりました。トホホ・・・

しかしそれにめげる防災部会ではない！ もっと安く食べられる「ひつまぶし」を求めて三千里。ありました。ウナギ以外のひつまぶし。



灯台下暗し、地元八日市の「万葉」にあったのが「近江牛のひつまぶし」。食べ方も3パターンの正統派。①は牛丼に近い感じだが、③が絶品！ お茶の代わりに〇〇を使っているのが牛とベストマッチ！

守山の「門前茶屋かたたや」には「鶏のひつまぶし」が。③では鶏がらスープをかけます。味に文句はないんだけど、量がおとなしめで、食いしんぼにはちょっと物足りないかな・・・



米原の「味求縷（みぐる）」では「とんかつのひつまぶし」を発見。個人的には「とんかつをひつまぶしにする必要があるのか？」と思うけど、ウチの娘は大のお気に入り。時々思い出したように「あの店へ連れてって」とすごむので、連れてって筆者はフツのコースとんかつ定食を食べてます。

最近知ったのが「豚のひつまぶし」で、店は伊賀の「楽豚（らくとん）」（もくもくファームの近くです）どえりゃーうめーぜ。おまけに今回紹介した中で、いちばん財布にやさしい！ 腹ペコさんが泣いて喜ぶボリュームと美味しさ！ 防災部会イチオシだ！



美味しい食べ物の情報があったら、ぜひ防災部会にお寄せください！

## TOPICS



### ☆こと防第二小ブロック会議

湖東地区防災ネットワークの第二小ブロック会議が、10月23日に湖東コミセンで開かれました。

情報交換の後、話題はやはり台風のことに。「雨風の強い時は、絶対に外に出たらあかん」ということで一致しました。



このブロックは浸水被害が比較的小さいと想定されるので、活動のメインは大地震対策でいこうということになりました。また防災備蓄の必要性についても意見が出て、次回会議までに行政が持っている備蓄品や、自治会や各家で備蓄した方がよいものを調べておくことになりました。

### ☆ふるさとまつりで啓発活動

11月3日の「ことうふるさとまつり」に防災部会も参戦。かまどベンチを使った防災非常食の試食を行いました。

市の防災危機管理課から提供を受けたアルファ米の五目ご飯（お湯をそそいで15分であったかご飯の出来上がり）と、缶入りクラッカーを試食してもらう企画。クラッカーはそのままではパサパサして食べにくいので、最近大ブームになっているカルディのコーヒーホイップクリームなどを塗って試食してもらいました。「美味しい！」と好評だったのは、クリームのせいかな・・・

印象的だったのは、「こないだの台風で、災害への備えが必要であることを痛感した」とおっしゃられる年配の方が多かったことでした。



午後からのステージでは、恒例となった「防災ウルトラ三択クイズ」を実施。進行役は防災部会一のイケメン、つかさ君です。今年の優勝賞品はスマホの充電に使えるモバイルバッテリーでした。災害で停電しても使える太陽光発電のすぐれもの。また6位まで北海道のお菓子が賞品に。それより、問題を考えるのが大変じゃ～



ところで終了後、驚くべき事実が判明した。まち協の何人もがふるさとまつりの模様をカメラで撮っていたのに、防災部会の写真は1枚もなかったのだ！ がびーん。まち協内における防災部会の立ち位置が、これでわかってしまうものデス。



## ☆HUG を体験してみました！

市の主催する防災研修会に参加して、HUG（避難所運営ゲーム）を体験しました。大地震が発生してから数時間後という設定で、小学校に開設された避難所の運営スタッフになったつもりで、押し寄せる避難者や次々と起こる難問にどう対処していくかを、図上で疑似体験するものです。

筆者がこれを体験するのは2回目なのですが、何回やってもムズカしい～・・・押し寄せる避難者の群れをさばききれず、頻発するトラブルにおたおたするばかり。実際はもっと大変なんだろうなあ。完璧は無理としても、よりスムーズな運営をするためには、やはり事前の備えが必要。HUG をやってみると、どんな準備が必要になってくるかよくわかります。

来年度のこと防では、ぜひHUGの研修を取り入れてみたいな、と思う食いしん防災部会でした。



## 今後の活動予定

- 11月18日（日）下岸本町DIG出前講座
- 25日（日）小田苅町防災マップ作り出前講座
- 12月 1日（土）わがまち協働大賞発表

## 勝手にQ&Aコーナー

「こんな質問があるかも」と勝手に想像して答えるコーナーです

Q：HUGがそんなに難しいのなら、初心者がするのは無理ですか。

A：このゲームは勝つことが目的ではなく（そもそも勝ち負けがありません）、体験することに意味があります。やれば確実に意識が変わります。

Q：巻頭のあいさつ(?)は、防災と関係ないと思うのですが。

A：すべての道は、ローマと防災に通じるのです！

楽しい質問、お待ちしております！

